

平成 30 年度事業報告（ダイジェスト版）

1. 法人関係

(1) 定時総会、理事会関係

- ① 第 1 回理事会：平成 29 年 4 月 10 日 山口県産業技術センター 第 2 会議室
出席理事：理事 9 名（理事総数 13 名）、監事 2 名出席
議題：・平成 29 年度事業・決算報告の承認、監査報告
・平成 30 年度定時総会の記念講演などの確認
- ② 定時総会：平成 30 年 5 月 23 日 山口グランドホテル
出席会員：正会員 13 名＋議決権行使書 10 名で議決権数 23 名（総数 23 名）
来賓：山口県商工労働部 部次長 浅賀浩二氏他 2 名、中央会 連携支援部長 佐々木
宏氏
賛助会員：山口県産業技術センター 理事長 木村悦博氏他 2 名
やまぐち産業振興財団 副理事長 阿野徹生氏、技術振興部長 廣政武志氏
議題：・平成 29 年度事業報告、決算報告、監査報告、役員選任に関する件
・報告事項：平成 30 年度事業計画、予算に関する件
会員講演：「ドローン運航などに関する各種問題点について」
講師：王子ゴム化成株式会社 常務取締役工場長 田中 茂氏
記念講演：「悩めるコーディネーターの独り言」
講師：(地独)山口県産業技術センター イノベーション推進センター
プロジェクトプロデューサー 安田研一氏
交流会：参加者 19 名
- ③ 第 2 回理事会：平成 30 年 5 月 23 日 山口グランドホテル
出席理事：理事 9 名（理事総数 11 人）、監事 1 名出席
議題：役員改選に伴い、会長：小泉達也氏、副会長：北見幹治氏を選任。
- ④ 第 3 回理事会：平成 30 年 10 月 19 日 山口県産業技術センター 第 2 会議室
出席理事：理事 8 名（理事総数 11 人）、監事 1 名出席
議題：・平成 30 年度上期事業報告（会長の職務執行状況の報告）
・平成 30 年度上期決算
報告・協議事項
・平成 31 年度定時総会の開催日時について
- ⑤ 第 4 回理事会：平成 31 年 3 月 20 日 山口県産業技術センター
出席理事：理事 8 名（理事総数 11 人）、監事 1 名出席
議題：・第 1 号議案 平成 31 年度事業計画（案）に関する件
・第 2 号議案 平成 31 年度収支予算（案）

(2) 会計・納税関係

- ① 4 月 4 日に、田中監事、長廣監事により、事業報告書、会計帳簿の現金出納帳、預金通帳、各種証憑書類の調査、財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書の監査を実施。
- ② 5 月 8 日に宇部税務署に平成 29 年度法人税確定申告書を提出。
- ③ 5 月 8 日に宇部市役所、県税事務所に法人市民税、県民税の申告書をそれぞれ提出し、

法人市民税（50,000 円）、県民税（21,000 円）の均等割り額を納税。

(3) 法人変更登記

平成 30 年度定時総会での役員改選に伴い、5 月 30 日付で法人変更登記完了。

(4) 法人土地・建物基本調査

8 月 6 日に、国土交通省の平成 30 年度 法人土地・建物基本調査票を Web 提出。

2. 研究会支援事業

(1) 移動トイレ（トイレラー）研究会

① 平成 25 年に【折りたためる部屋】として特許取得し、平成 27 年にキャンピングカーメーカーへ折りたためる部屋として新しく提案したが現在まで成案はない。

② 大分県異業種連携企業会から、大分市のバイオトイレを開発・販売している企業とのコラボレーションの可能性を提案され、トイレラーの資料を先方に送付したが成案に至らず。

(2) 電動立ち上がり補助器具の検討

小泉会長からの提案で、座っている状態から立ち上がる補助器具の調査依頼。

① 神崎(株)（大阪府箕面市）の立ち上がる補助器具（座椅子タイプで座ったまま座面が上昇するタイプなど多数あるが、電動は高額で床座位用ではない。）

② プロト・ワン(有)（東京都）のアップリフト椅子用立ち上がり補助リフト（ガスダンパー式立ち上がり補助リフト、揚程が少なく完全に立ち上がることは困難。）

③ 上記いずれも、当初の要求に至らず、小泉会長が独自に開発中。試作品製作を検討中。

3. 視察会事業

(1) 事務局で視察先案を提案し、会員の意見も聞いて計画。

(2) 第 1 回企業視察会

開催日：平成 30 年 10 月 11 日(木) 13:30~15:00

視察先：(株)長府製作所（下関市長府）

内容：長い歴史とトップシェアの石油給湯器・太陽熱温水器を中心に、多彩な商品展開で住宅設備機器総合メーカーへの地位を築かれている。

部品全体で内製化率が高く、稼働率が若干低いような機械が見受けられるが、品質面と安定供給を重視とのこと。工場内は具品が整然と配置されている。

参加者：11 名

(2) 第 2 回企業視察会

開催日：平成 30 年 12 月 11 日

視察先：ジャパンファインスチール(株)（山陽小野田市）

内容：Si ウェーハや水晶ウェーハ等のインゴットをウェーハ状に薄くスライスする切断用のソーワイヤ、線径 100 μ m の極細マグネシウムワイヤを芯材に入れたスピーカーケーブル（ケーブル自体の振動を抑える効果を期待）等の製造。特殊ワイヤー生産部門では日本のトップメーカー。

平成 27 年度産技センターで支援)

参加者：10 名

(3) 西瀬戸ダイヤモンド異業種交流会（愛媛）平成 30 年 11 月 7 日、8 日

11 月 7 日：

セミナー：「企業内のネットワークの整備のために」

クラウド、IoT、AI の活用に向けて

講師：シスコシステムズ合同会社 システムエンジニア 田村大地氏

シスコメラキ社の、クラウドで管理するネットワークソリューション提供について、働き方改革として、離れた場所から Web ブラウザ、タブレット、スマートフォンを通じて、多拠点や遠隔地への迅速なビジネス展開、および IT 管理者負担、運用コストの削減に最適なソリューションを紹介。

交流会：4 地域から 18 名参加

愛媛県技術・市場研究会の会員が各社の事業紹介。

愛媛の会員、アカマツ(株)が新社屋建設に伴い、山口県の(株)ジオパワーシステムの地下熱利用システムの採用を検討。当方から(株)ジオパワーシステムに仲介。

(平成 26 年度の山口開催の交流会で(株)ジオパワーシステムを視察)

11 月 8 日

(株)いうら視察 (愛媛県東温市)

内容：入浴リフトやストレッチャー、特別仕様の車いす等の福祉・介護機器の研究開発、設計、製造。一般的な介護機器ではなく、個別の顧客に対応可能なようにカスタマイズされた機器を開発。全国 8 か所に営業所を設け、営業とメンテナンス。日本一の福祉機器メーカーになるという経営方針。

参加者：(一社)山口県技術交流協会：2 名 (平成 29 年度山口開催：16 名)

大分県異業種連携企業会：3 名 (平成 29 年度山口開催：11 名)

佐世保異業種交流協会：4 名 (平成 29 年度山口開催：8 名)

愛媛県技術・市場研究会：9 名 (平成 29 年度山口開催：0 名)

4. コーディネート事業 (課題解決支援含む)

(1) 山口県産業技術センターが県内企業と開発中した、廃棄された粉末消火剤とプリンタートナーを使用した耐水性を持った微粉末難燃剤について、新たな用途として木材用の不燃塗料やプラスチック充填剤として期待できないか、マッチングパートナーの紹介・打診の要請があり、会員に打診。

(2) オリーブオイルの絞り機の調査

県内で、オリーブの生産から販売までを検討中。

(3) 3×6 尺ベニヤ板の欠陥の検出について (小泉会長から県内企業の課題)

山口県産業技術センターで研究中の AI を活用したディープラーニングの活用の可否を検討。

5. 情報伝達事業

山口県、やまぐち産業振興財団、山口県産業技術センターなどの公的機関からの各種企業支援事業やセミナーなどの情報について、各機関の情報を検索型から会員などに個別提供型にして、メールやホームページで提供している。

(1) 支援事業、助成事業関係：約 30 件をメール等で会員などに提供

(2) 各種講演会、セミナー案内：約 50 件をメール等で会員などに提供

6. 会員の動向

平成 31 年 3 月 31 日現在の会員数：25 社・人

正会員：法人：21 社、個人：2 人

賛助会員：山口県産業技術センター、やまぐち産業振興財団の 2 団体

以上